

茨木市の指定文化財

茨木市指定文化財（史跡）

あい0 ごうふん 安威0号墳



1号粘土槨と2号粘土槨

- ◇所在地 茨木市大字安威
- ◇指定番号 史跡第2号
- ◇指定年月日 平成10年4月1日

築造年代は古墳前期末から中期にかけての頃と考えられます。標高約89mの尾根の最も高い所の自然地形に造られ、墳丘の寸法径約15mの円墳で、自然地形を利用し、約2mの盛土がされています。

内部主体墳丘には2墓の縦長の粘土槨が検出されましたが、2基とも長辺の西側約半分が、流失していました。粘土槨は、尾根と同じ東西方向にその主軸をおいた2墓が並び、いずれも割竹形木棺を内部にもつ構造です。

1号粘土槨は、槨内長約2.7m、幅約0.8m、底部は「U」字形で、内面全体に赤色顔料が付着し、銅鏡1面・勾玉・管玉・小玉などの玉類、鉄鎌・鉄斧・刀子・やりがんな等の鉄製工具の副葬品が出土しています。

2号粘土槨は、槨内長約2.0m、幅約0.8m、底部は「U」字形で、内面全体に赤色顔料が付着し、銅鏡1面、勾玉・管玉・丸玉・小玉・なつめ玉等の玉類のほか、鉄製工具が出土しました。

発見された銅鏡の「斜縁半肉刻一仙五獣帯鏡」（1号粘土槨）と、「平縁半肉刻四獣鏡」（2号粘土槨）、は市指定文化財となっています。